



浦添市医師会報

The Journal of the URASOE Medical Association

春夏号
Vol.97
2025(令和7年)

pickup

第66回浦添市医師会定時総会

浦添市医師会 旧正新年会

第66回浦添市医師会ゴルフコンペ

浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー市民公開講座

CONTENTS

01 第66回浦添市医師会定時総会

02 二水会

1月「浦添市国際交流員のお仕事紹介」

2月「浦添市医師会旧正新年会」

4月「外国人診療に関する勉強会」

09 令和6年度浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー市民公開講座

11 第66回浦添市医師会ゴルフコンペ

14 令和6年度浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー業務報告

15 会員寄稿

「実践!クリニックのためのCOVID-19診療 in Urasoeに参加して」

にぬふあぶし診療所 院長 大演篤

16 表彰 宮城敏夫先生 令和7年春の叙勲 瑞宝小綬章受章

18 理事会報告

20 入会・退会・異動報告

21 講演会・研修会等のご案内

24 事務局からのお知らせ

25 編集後記

浦添市医師会提供ラジオ番組

「ゆんたく健康トーク」出演予定

表紙の写真



～ハクソー・リッジ(前田高地)～

梅雨の晴れ間広がる5月下旬、浦添城址公園を訪ねました。
頂上を目指して歩を進めると、眼前に沖縄本島中部の西海岸が一望できる小高い丘陵に辿り着きます。

今からちょうど80年前に激しい地上戦が行われたこの場所は前田高地と呼ばれ、アメリカでは映画化され話題となりました「ハクソー・リッジ」とも呼ばれています。

緩斜面となっている南側とは対象に、急崖な地形となっている北側では、沖縄戦当時、首里への進軍を目指す米軍と防衛線を構築していた日本軍との激しい戦闘が行われた場所として、公園内の案内板が当時の状況を現在に伝えています。

今年は戦後80年の節目となり、戦禍をくぐり抜けてきた先人への畏敬の念と恒久平和への想いを改めて強くしました。

第66回 定時総会

日時:令和7年3月24日(月)19:00

場所:浦添市医師会事務局

第66回浦添市医師会定時総会が、3月24日(月)19時から浦添市医師会事務局にて開催された。

司会の照屋徹副会長より、会員数256名のうち207名の委任状を含む出席による本総会成立と、上程された全ての議案について決議が可能との報告があり、開会が宣言された。

続いて藏下要副会長の挨拶の後、議長の選出が行われ、議場に諮ったところ執行部案の藏下要副会長が選出された。

- ・議決権のある当法人会員総数：256名
- ・総会員の議決権の数：256個
- ・出席会員数(委任状によるものを含む)：207名
- ・この議決権の総数：207個

第66回浦添市医師会定時総会

- 1.開会宣言
- 2.会長挨拶
- 3.議長選出
- 4.議事

- 第1号議案 令和6年度(第33期)補正予算案に関する件(満場一致で承認)
第2号議案 令和7年度(第34期)事業計画案に関する件(満場一致で承認)
第3号議案 令和7年度(第34期)収支予算案に関する件(満場一致で承認)
第4号議案 定期預金の解約について
第5号議案 その他

以上をもって議長より本総会の議事を終了した旨が述べられ閉会した。



会場の様子

二水会(1月)報告

「浦添市国際交流員のお仕事紹介」

日 時:令和7年1月15日(水)19:00
場 所:浦添市医師会事務局

副会長 照屋 徹



令和7年1月の二水会は浦添市国際交流課国際交流員のジェイソン・チェンさんをお迎えし、ジェイソンさんのご出身地の紹介や国際交流員になられた経緯と国際交流員の仕事の紹介、将来の展望についてお話しいただきました。立命館大学への留学経験があり、米国と日本の大学生の意識の違いなども伺うことができ、有意義な会を設けることができました。インバウンドや在沖外国人が増加している中、様々な活動が要求されると思いますが、沖縄での生活をお楽しみいただきながらのご活躍を期待しております。

「外交へのベビーステップ」

浦添市国際交流課 国際交流員 ジェイソン・チェン



今回の医師会での勉強会にて、「浦添市国際交流員(CIR)の業務紹介」というテーマで発表の機会を頂戴しました。私は米国・ニュージャージー州立ラトガース大学で国際関係学と日本語・文化の教育を受け、京都の立命館大学に留学し、令和6年8月より、JETプログラムを通じて本市のCIRとして勤務しています。JETプログラムは、日本各地の自治体において国際交流や語学教育を推進するために、海外から人材を招致する日本政府主導の取り組みです。

発表では、CIRの主な業務内容として、行政文書や来庁者対応における翻訳・通訳業務をはじめ、浦添市国際交流協会(UIRA)及びJICAの国際交流事業や多文化共生事業への連携・支援、さらに南米・ハワイ移民の子弟支援活動や友好都市である泉州市との交流推進・助言、英訳付きの月刊「広報うらそえ」のコラムの執筆などについて紹介しました。また、私の出身地であるニュージャージー州について触れ、「世界の薬箱」とも称される同州が誇る製薬業界や医療研究機関を紹介し、アメリカにおける医療技術の進歩と国際的な研究協力の実例についてもお話ししました。

私は、元JET参加者で現在浦添の在沖米国総領事であるアンドリュー・オウ氏のように、将来は外交官としての道を志しており、今後も浦添市における国際交流の促進に力を尽くしてまいりたいと考えています。本発表を通じて、地域と世界をつなぐ国際的な視野と、多文化共生・国際協力の重要性をお伝えできれば何よりの幸せです。



ゲストスピーカーの浦添市国際交流課・国際交流員のジェイソン・チェンさん



会場からは多くの質問が寄せられました



ご講演ありがとうございました!

二水会(2月)報告

「浦添市医師会旧正新年会」

日 時:令和7年1月31日(金)19:00

場 所:PIZZA HOUSE新本店

浦添市医師会事務局

令和7年1月31日(金)、浦添市港川のPIZZA HOUSE 新本店におきまして、令和7年浦添市医師会旧正新年会を開催いたしました。

藏下要副会長の司会に始まり、洲鎌盛一会长の挨拶があり、國吉幸男先生(浦添総合病院)に乾杯のご挨拶をいただき和やかに始まりました。

毎年恒例となっているワインコーナーには山城惟欣先生(サンパーク胃腸内科クリニック)が厳選されたワインがずらっと並び、美味しいお食事とともに舌鼓を打たれていきました。

今回も余興は上原哲夫先生(宮良クリニック)に唄三線をご披露いただきました。ほのかに照明が落ちた会場の雰囲気と相まってとても心にしみる演奏に引き続き、久高学先生(マンマ家クリニック)の漫談では会場を爆笑の渦に巻き込み、とても楽しいひと時になりました。

司会の照屋徹副会長の進行のもと余興の後に行われた福引き抽選会では、高良聰子先生や勝連啓介先生、久高学先生、洲鎌盛一会长にクジを引いていただき、石橋慧一先生(比嘉眼科)が1等賞を、2等は稻福徹也先生(稻福内科医院)、3等賞を又吉宣先生(げんか耳鼻咽喉科)が引き当て大いに盛り上りました。

最後に副会長の宮良球一郎先生にご挨拶をいただき賑やかな雰囲気のうちに閉会いたしました。

また来年も旧正月の頃に開催を予定しておりますので、多くの先生方のご参加を心よりお待ちしております。ご参加いただきありがとうございました。



(司会(前半)) 藏下要副会長
(挨拶) 洲鎌盛一会长
(挨拶) 宮良球一郎副会長
(乾杯の挨拶) 國吉幸男先生



上原哲夫先生の唄三線が
心に沁みます 久高学先生の漫談では
笑いの渦が巻き起こりました



会場の様子



福引き抽選会も大盛り上りました!



1等の石橋慧一先生、2等の稻福徹也先生、3等の又吉宣先生 おめでとうございます!

ニ水会(4月)報告

外国人診療に関する勉強会

～NGO活動から見えてくる多文化共生社会の楽しみ～

日 時:令和7年4月9日(水)19:00

場 所:浦添市医師会事務局

外国人診療担当理事 山本 和儀



沖縄県の人口が3年連続減少している。その一方で在留外国人は出入国在留管理庁によると令和6年12月現在29,384人で、令和5年末と比べて3,937人、15.5%増加した。小さな町村がまた1カ所誕生したようなものである。

今回の外国人の診療に関するセミナーでは、ニ水会の本来の目標である会員の親睦のための集まりとなるよう、学術的な内容ではなく県内で活発にNGO活動をされている多文化ネットワークfuふ!沖縄代表の大仲るみ子さんを講師に迎えた。大仲さんの多文化共生社会のための活動の楽しみを披露していただき、浦添市医師会会員も多文化共生社会を楽しみ、外国人診療に対する心のバリアを少しでも低くできればよいなというのが狙いであった。大仲さんは沖縄生まれながらも、進学等で岩手県や北海道の北国の異文化生活を楽しみ、ワーキングホリデーで滞在したオーストラリアのメルボルンでの多文化シェアハウスでの共同生活やニュージーランドでマオリの方々との交流体験、そして米国ロサンゼルスの親せきを訪ね、ラテン系アメリカ人と楽しく気づきの多い交流体験を話された。そしてEnglish as Second Language Schoolでの体験から日本語教師(JSL)を目指して学び、ネパールで日本語学校の校長就任を依頼された冒険譚を語られた。世界に42万人いる沖縄移民の120年を超える歴史や現地での多文化共生生活の数々、災害時の相互支援等を貴重な写真やクイズを交えて紹介された。多文化共生はチャンプルー。在沖縄ベトナム人協会主催で令和6年11月3日に那覇市で開催された第1回国際文化交流IN NAHAやネパールニューイヤー等外国人コミュニティの活動や沖縄県による多文化共生社会推進のための取組みや万国津梁会議について話された後、ネパール献血者協会・沖縄で仲間と一緒に活動しているサハ・ラフル・クマル氏を紹介された。

二人目の情報提供者は浦添市国際交流協会の城間千賀子企画指導員。設立以来30年を超える国際交流協会の活動を詳しく話され、浦添市医師会会員と会員医療機関の職員は法人会員のメリットを享受できることについても話していただいた。

懇親会では医師会事務局が用意した市内のネパール料理店から調達したオードブルをいただきながら、お酒も交えて歓談・情報交換した。ラフルさんの「外国人も人間だから、流れている血液は一緒！」との言葉に皆さん感動し、懇親会の閉会の辞で照屋徹副会長が「曾祖父がカナダに出稼ぎに行ったからこそ、祖父から3代続く医師の家系があるのです。」とファミリーヒストリーを語り感謝されたことで、多文化共生社会が他人事ではなく、いっそう身近なものに感じられ、外国人診療に関する心の壁を低くすることができたように思われました。浦添市企画部国際交流課の新任の金城紅子課長、米須花絵係長も参加され、行政、医師会、NGOの活動のシームレスな連携が期待されます。

「多文化共生社会の楽しみ」

多文化ネットワークfuふ!沖縄 代表 大仲 るみ子



「多文化共生社会」を考えた時、アジア各地との交易を通して人と文化の懸け橋となつた先人たちの「万国津梁」の志や沖縄移民として、世界各地へ渡ったウチナーンチュの生き様は、いま私たちに多くのことを教え、問うているのではないか、と思います。多文化ネットワークfuふ!沖縄は、対等で楽しいコミュニケーションを通じて、誰もが安心して暮らせる社会を目指しています。今回、これまでの出会いや活動から見てきたことをお話しする機会をいただけたこと、感謝いたします。

懇親会では、沖縄移民のファミリーヒストリーや病院での言語の壁対応への挑戦についてのお考えを伺うことができ、貴重な学びとなりました。ありがとうございました。また、ネパール献血者協会のラフルさんをみなさんにお紹介できたことも、大変嬉しい瞬間となりました。

ネパール献血者協会 サハ ラフル クマル



皆さんの前で自分の献血活動について話す機会をいただき、とても嬉しく思いました。みなさんの称賛と感謝のお言葉をいただき、大変光栄に思い、これからも地域社会に貢献し続けたいという気持ちが強まりました。さらに嬉しかったのは、市内の医療関係者が外国人居住者への対応についてどのように改善できるかについて、積極的に話し合っていたことです。課題のひとつは、言語の壁で、日本語が話せない患者さんとのコミュニケーションが非常に難しいという点です。もし機会があれば、言葉の壁に直面している方々のために、通訳としてお手伝いできればと強く思いました。





司会の山本和儀先生



講師の多文化ネットワークfufu!沖縄代表 大仲るみ子さん



ネパール献血者協会 サハ ラフル クマルさん



浦添市国際交流協会の皆さん



洲鎌盛一浦添市医師会長の挨拶



照屋徹副会長の貴重なファミリーヒストリーも伺えました



今回は浦添市安波茶にあるカンティブルーカレーハウスの料理をご用意しました。皆様もぜひ一度ご賞味ください♪



令和6年度浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー市民公開講座

日 時：令和7年2月22日（土）14：00

場 所：アイム・ユニバースてだこホール小ホール

浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー事務局

去る2月22日(土)に、令和6年度浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー市民公開講座を開催いたしました。当日は周辺施設で大規模なイベントがあり、参集を心配しておりましたが、81名の参加者にご来場いただきました。

浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー運営委員会で協議を行い「リエイブルメント」と「ACP(人生会議)」をテーマに開催するにあたり、地域住民が住み慣れた地域で、高齢や病気・ケガなどで日常生活に不安を感じても「元の生活を取り戻す」ための考え方(リエイブルメント)について周知する。また、自らの死を意識して、人生の最期を迎えるための様々な準備(終活)や、将来の変化に備え、将来の医療及びケアについて、本人を主体に、そのご家族や近しい人、医療・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、本人による意思決定を支援する取り組み(ACP)を情報発信することで、自分事として考えることができる様、知識向上や啓発活動を目的として、今回の市民公開講座のタイトルを「考えようわたしの未来～いつまでも自分らしく暮らすために～」に決定いたしました。

I部基調講演では、仲宗根美紀氏(沖縄県理学療法士協会(沖縄県リハビリテーション専門職協会理学療法士)より、「リエイブルメントってなに?」と題し、リエイブルメントの考え方や浦添市が取り組んでいる【浦添市チャレンジライフ90】、他県の事例について具体的なイメージがしやすいイラスト等を交えながらご講演いただきました。

新屋洋平先生(ゆい往診クリニック院長 / 沖縄県医師会 在宅医療・介護連携統括アドバイザー)より、「いま」を繋げるACP(人生会議)と題し、在宅医療で実際に行われていることや在宅医療(訪問診療・往診、訪問看護)について、『希望する医療』について話し合うときに必要な知識、人生の最終段階において、医療・療養を受けたい場所・実際の場所、沖縄県・沖縄県医師会発行の命しるペパンフレット、人生の最期にどうありたいかを考える『もしバナゲーム』の紹介等をわかりやすい言葉でご講演いただきました。

II部のディスカッションでは、小規模多機能ホーム前田の家 介護支援専門員宮城安志氏に座長と介護支援専門員の立場からご回答をお願いし、基調講演に引き続き仲宗根美紀氏と新屋洋平先生にご登壇いただき、会場からのご質問にご回答していただきました。充実した内容でディスカッションはあつという間に進みました。

会場の参加者からは、「今日のこのような話を色々な年代の人に聞いてもらい、考えてもらいたいと思いました」、「リエイブルメントという言葉を初めて知りました。リエイブルメントの取り組みはすごくいい考え方だと思いました」、「自分自身だけではなく、家族と普段から話していくべきだと思いました。とても良かったです」と基調講演のご感想をいただき、ディスカッションでは「リエイブルメントやACPなど色々と詳しく聞ける場だった。家族のことを思い出しながら元気なうちにどう生活したかを家族で話し合う事を忘れていたなと感じた。未来的思考を大切にしていきます」、「質問に細かく答えていただけて良かった。他の質問によって気づきにも繋がり良かった。発言することが苦手な者としては、記入式はありがたかった。」「質問への回答もあり、理解が深まった。座長のマイクパフォーマンス、コメントがわかりやすかった。」とのご感想やお言葉をいただきました。

当日のアンケート結果につきましては、うらっしーホームページに掲載しておりますので、是非ご覧ください。(https://www.urasshii.com/)

今回の市民公開講座の総合司会は、Ⅱ部ディスカッションの座長をしていただいた、うらっしー運営委員の宮城安志委員(小規模多機能ホーム前田の家 介護支援専門員)にお願いし、会を円滑に進めていただきました。講師をお引き受けいただきました仲宗根美紀氏、新屋洋平先生ご協力いただきました多くの皆様に心より感謝を申し上げます。



主催者代表
新垣剛副市長



実施運営代表
洲鎌盛一會長



総合司会
宮城安志氏



講師 仲宗根美紀氏



講師 新屋洋平先生



ディスカッションの様子



ご出演ありがとうございました！

第66回 浦添市医師会ゴルフコンペ

日時:令和7年3月20日(木・祝)7:06

場所:琉球ゴルフ俱楽部



副会長 照屋 徹



令和7年春分の日の浦添市医師会ゴルフコンペは恒例の琉球ゴルフ俱楽部において前半は西コース、後半は東コースにて開催されました。寒の戻りでスタート時は15℃を下回る中、12名の精鋭が集いました。

当日の天候は晴天、弱風で、琉球GC特有の深いラフが普段よりも短く刈り取られていることにほっとしたのも束の間、ダイキンオーキッドのトーナメント開幕戦後で早いグリーンに苦しめられる展開となりました。優勝は辺土名仁先生、準優勝が平安良雄先生、3位福本泰三先生、ラッキー7賞には銘苅晋先生、ベストグロスは照屋でした。ドラコン賞は西7番照屋、東9番は銘苅晋先生、ニアピン賞は西3番福本泰三先生、西8番は該当なし、東4番では比嘉清志郎先生、東7番は該当なしでした。

私は優勝された辺土名先生、準優勝の平安先生、比嘉清志郎先生と同一組でしたが、辺土名先生の砂一(サンドセーブ:バンカーショットからのパーセーブ)が3回、平安先生のワンバウンドダンクのチップインバーディー、寒い中を半袖で元気よくラウンドされた比嘉清志郎先生に圧倒されながらもなんとか18ホールを終えることが出来ました。

ラウンド後の表彰式では、平安先生が連續で準優勝していると話されていました。私の手元にある過去の会報誌を見返してみると、コロナ禍などの理由から記録を残していない62回を除き、令和4年9月23日の第61回から63回、64回、65回、そして今回の66回と、確かに5回連續の準優勝を記録されておりました。ゴルフが安定している証拠で正直羨ましいと思ったと同時に、ラウンド中に垣間見た集中力は優勝への並々ならぬ思いだったのだと理解できました。

また、辺土名先生の優勝の弁では、コンペに参加し始めた頃と現状のゴルフの比較話がとても印象的でした。今となってはティーショットで差が出ると申されておりましたが、スコアをまとめるのはグリーン周りであることを目の当たりにし、まだまだ後輩には譲れないという意気込みを強く感じた次第です。

さて、通常3位の栄誉?として付与されていた会報誌への報告ですが、今回からランダムにお願いすることとし、初の試みで参加者全員の阿弥陀くじを行いました。結果はご覧の通り、私照屋が見事に報告の義務を得ることとなりました。次回は阿弥陀くじ以外の方法で策を練りたいと考えております。

第66回浦添市医師会ゴルフコンペ結果

<順位>

優勝	辺土名 仁 先生	みどり耳鼻咽喉科
準優勝	平安 良雄 先生	平安病院
3位	福本 泰三 先生	浦添総合病院健診センター
4位	比嘉 清志郎 先生	同仁病院
5位	宮國 孝男 先生	乳腺・甲状腺クリニックうらそえ
6位	仲宗根 豊 先生	なかもね内科・循環器科
7位	銘苅 晋 先生	浦添総合病院
8位	照屋 徹 先生	てい一ら整形外科
9位	石橋 慧一 先生	比嘉眼科
10位	石川 真 先生	牧港眼科
11位	洲鎌 盛一 先生	牧港中央病院
12位	比嘉 明 先生	比嘉眼科



穏やかな日差しのもとスタートいたしました♪



<各賞>

優勝	辺土名 仁 先生
準優勝	平安 良雄 先生
3位	福本 泰三 先生
ラッキー7賞	銘苅 晋 先生
ベストグロス賞	照屋 徹 先生
ブービー賞	洲鎌 盛一 先生
ドラコン賞(2本)	照屋 徹 先生(西7) 銘苅 晋 先生(東9)
ニアピン賞(2本)	福本 泰三 先生(西3) 比嘉 清志郎 先生(東4)
ブービーメーカー賞	比嘉 明 先生



昼食&懇親会の様子

優勝の辺土名仁先生、おめでとうございます！



準優勝の平安良雄先生、3位の福本泰三先生、おめでとうございます！

令和6年度浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー業務報告

浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー事務局

「浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー」は、介護保険法における地域支援事業の包括的支援事業として浦添市からの委託により平成27年4月1日より浦添市医師会に設置され今年で11年目を迎えます。

事業項目	
① 現状分析・課題抽出・施策立案	地域の医療・介護の資源の把握 ・浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしーホームページの管理・運営 (掲載内容の更新、新規事業所や休止事業所の把握、専門職への情報提供) ・受け入れ可能な医療的処置・管理別事業所一覧
	在宅医療・介護連携の課題の抽出 ・浦添市在宅医療・介護連携支援センター運営委員会(3回) ・在宅医療ネットワーク世話人会(12回) ・在宅療養支援病院・診療所と訪問看護ステーションとの意見交換会(2回) ・認知症ネットワークミーティング(3回)
	切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進 ・在宅医療や在宅主治医に関する依頼・相談(16件) ・在宅主治医(訪問診療)の紹介(3件) ・認知症総合支援事業との事業間連携について(周知)
② 対応策の実施	在宅医療・介護連携に関する相談支援 ・相談件数(70件) ・うらっしー紹介チラシ配布(行政、市内医療機関・介護事業所)
	地域住民への普及啓発 ・市民公開講座の開催(1回) ・「命するべきのちの道標パンフレット」「在宅医療と介護リーフレット」市民公開講座にて市民へ配布
	医療・介護関係者の情報共有の支援 ・「介護保険パンフレット」、「命するべきのちの道標パンフレット」、「在宅医療と介護リーフレット」、「うらっしーチラシ」、「入退院支援マンガ」、「入退院支援パンフレット」を関係機関へ配布
	医療・介護関係者の研修 ・多職種連携研修会の開催(1回) ・ACP 普及目的 「もしバナカード」を使用し関係機関へ講習開催(1回) 「命するべきのちの道標パンフレット」を使用し市民へ講習開催(1回) ・各種研修会への参加(5回)
③ その他	在宅医療・介護連携に関する関係地区町村の連携 ・地区医師会コーディネーターミーティング(12回) ・在宅医療・介護連携市町村支援事業コーディネーター等連絡会議(2回)

会員寄稿

「実践！クリニックのためのCOVID-19診療 in Urasoeに参加して」

にぬふあぶし診療所 大濱 篤



日時：令和7年4月29日(火・祝)14:00

場所：琉球大学病院沖縄クリニカルシミュレーションセンター

令和7年4月29日(火)14時、琉球大学病院(新病院内)沖縄クリニカルシミュレーションセンターにて、琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座(第一内科)主催により『実践！クリニックのための COVID-19 診療 in Urasoe』が開催されました。

会の冒頭には第一内科教授山本和子先生のご挨拶のあと、セミナーは3部門に分け、①COVID-19 の外来診療:抗ウイルス薬の使い方、②外来における感染対策、③ケースカンファレンスこんな患者さんがきたら、どうする?など、ミニレクチャー、グループワークを交えた勉強会がありました。

浦添市医師会からは、稻福徹也先生(稻福内科医院)、狩俣洋介先生、比嘉優さん(かりまた内科医院)、又吉宣先生(げんか耳鼻咽喉科)、名嘉村敬先生(名嘉村クリニック)、石川貴代先生(ひびき内科クリニック)、大濱篤(にぬふあぶし診療所)および看護師の皆さんのが参加されました。

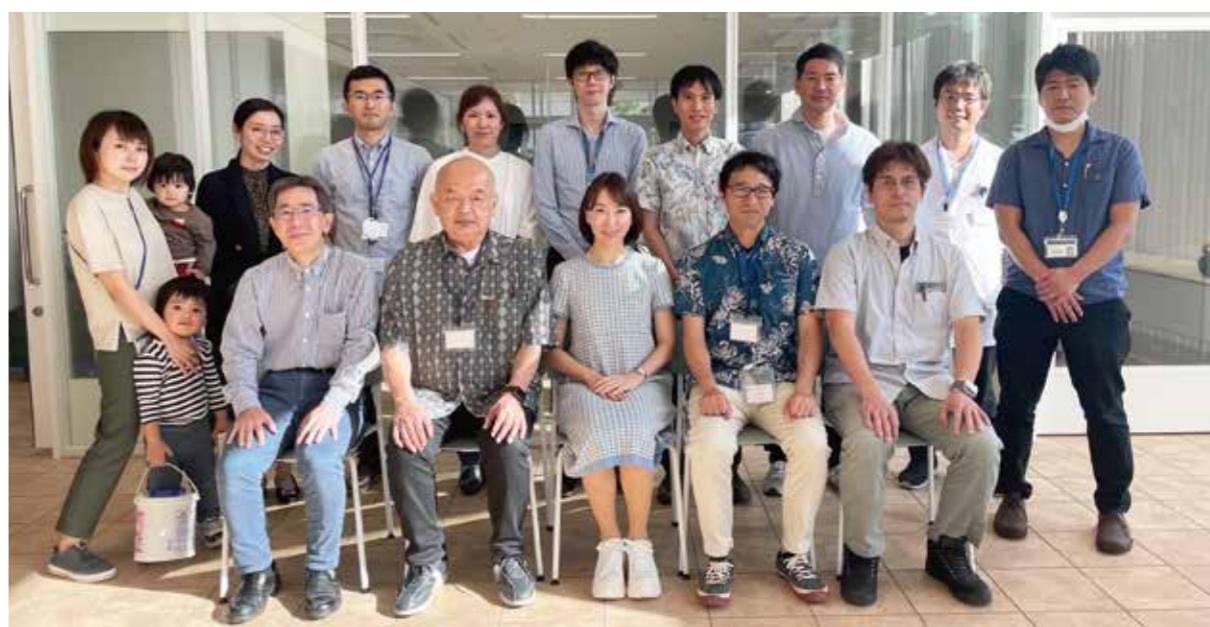


表 彰

令和7年 春の叙勲 瑞宝小綬章受章



社会医療法人仁愛会 相談役 宮城 敏夫 先生

本会元理事 宮城敏夫先生(社会医療法人仁愛会 相談役)が令和7年春の叙勲で瑞宝小綬章を受章されました。

宮城敏夫先生は、名護市出身で軍医であったご尊父様の赴任先(台湾・高雄)で出生。奈良県の無医村でへき地医療に従事していたご尊父様の影響を受け、医師の道を志します。

昭和44年3月に奈良県立医科大学医学部をご卒業し、奈良県立医科大学・第一外科、社会福祉法人恩賜財団済生会中和病院での勤務を経て、昭和50年7月に厚生省派遣医師のかたちで沖縄県立那覇病院に勤務されます。

昭和54年、当時はまだ医療資源が脆弱で発展途上期にあった浦添市での病院設立構想を描き、同年12月に医療法人仁愛会を設立。昭和56年4月、浦添市伊祖地区に「沖縄浦添病院」を開院されました。(※昭和57年7月、「浦添総合病院」に名称変更)

130床からスタートした病床数も現在は334床まで増床され、令和5年12月には現在の浦添市前田の高台に新築移転されています。

病院開設以来、現在に至るまでの44年以上の永きにわたり地域医療・保健・福祉の向上に尽力され、特に救急医療に関しては、昭和59年12月の救急告示病院指定後、24時間救急診療の開始、救命救急センター指定、沖縄県ドクターヘリ運航、ドクターカー始動と浦添市内のみならず沖縄県内における救急医療への尽力と貢献は非常に大きなものがあります。

また、我が国の高齢化社会を見据え、昭和63年より病院訪問看護、老人デイケア、訪問看護ステーション、ヘルパーステーション、介護老人保健施設、居宅介護支援事業所、訪問リハビリテーション開設と、利用者のニーズに対応可能な在宅サービスを県内でも先駆的に取り組み、介護保険制度施行後も積極的に地域関係団体や関係機関との連携構築を展開しております。現在市内2ヶ所で地域包括支援センターの運営も担い、行政機関との連携を強化しながら市民の健康福祉増進に寄与されています。

浦添市医師会は平成4年4月に設立されましたが、宮城敏夫先生は設立前の中部地区医師会浦添班時代から所属し、浦添班の独立→浦添市医師会設立へ向けた準備委員会に参画され、設立当初は理事として病診連携の推進、行政との協働、会員間の相互交流など、浦添市医師会設立黎明期の会務運営に多大なご尽力をいただきました。

この度の宮城敏夫先生のご受章は、浦添市医師会会員のみならず浦添市民にとりましても誇りとするものであり慶賀に堪えません。改めて深い敬意と感謝の意を表します。誠におめでとうございます。

<医師会関係>

社団法人浦添市医師会理事(平成4年4月~平成6年3月)

<学校医関係>

沖縄県立西原高等学校 校医(昭和57年4月~平成元年3月)

沖縄県立浦添高等学校 校医(平成3年4月~平成6年3月)

<表彰関係>

日本赤十字社特別社員功労(昭和59年)

全日本病院協会長表彰(平成7年)

病院事業功績厚生労働大臣表彰(平成13年)

沖縄県医事功労者県医師会長表彰(平成18年)

公衆衛生沖縄県知事表彰(平成25年)

日本公衆衛生協会長表彰(平成29年)

2025年春の叙勲 瑞宝小綬章(令和7年)



浦添市医師会より勲記・勲章の伝達式を行いました(令和7年5月15日)



理事会報告（令和7年1月～4月）

令和7年1月20日（月）19:00

1. 入会・退会報告
2. 会議・委員会等参加報告
 - ・浦添市医師会1月二水会
 - ・令和6年度かかりつけ医等心の健康対応力向上研修会
3. 令和7年浦添市医師会旧正新年会について
4. 令和6年度浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー市民公開講座について
5. 第66回浦添市医師会ゴルフコンペについて
6. 予防接種事務手数料ならびに上限額減額の期間満了について
7. 二水会・学術講演会に関するアンケートについて
8. プロ野球オープン戦開催に伴う医師・看護師の派遣について
9. 案内事項
 - ・琉球大学医学部新任教授の記念講演ならびに懇親会について
 - ・琉球大学病院沖縄健康医療拠点開所式について
 - ・浦添市CKD・糖尿病性腎症対策講演会～うらそえ腎腎プロジェクト～について
10. 沖縄県医師会の動向、情報提供・共有など

令和7年2月17日（月）19:00

1. 会議・委員会等参加報告
 - ・令和6年度第2回浦添市自殺対策推進専門部会
 - ・第3回浦添市子宫がん検診受託施設意見交換会
 - ・令和6年度第1回地区医師会特定健診担当理事者会
 - ・令和6年度第1回地区医師会長会議
 - ・令和6年度万国津梁会議
2. 浦添市CKD・糖尿病性腎症対策講演会～うらそえ腎腎プロジェクト～について
3. 令和6年度浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー市民公開講座について
4. 第66回浦添市医師会ゴルフコンペについて
5. 二水会・学術講演会に関するアンケートについて
6. 4月二水会についてのご案内
7. 承認事項
 - ・令和7年度浦添市個別予防接種見積書について
 - ・令和7年度浦添市がん検診見積書について
 - ・「オレンジ・ランプ」特別上映会＆認知症講演会後援依頼について
8. 案内事項
 - ・介護外国人受入れ・定着セミナー&相談会について
 - ・学校医が診る疾患セミナーについて
 - ・琉球大学医学部新任教授の記念講演ならびに懇親会について
 - ・琉球大学病院沖縄健康医療拠点開所式について
 - ・移民女性の妊娠・出産についての講演会のご案内
9. 沖縄県医師会の動向、情報提供・共有など

令和7年3月17日（月）19:00

1. 入会・退会報告
2. 会議・委員会等参加報告
 - ・第102回沖縄県医師国民健康保険組合会
 - ・令和6年度第2回かかりつけ医等心の健康対応力向上研修企画委員会
 - ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施意見交換会
 - ・令和6年度第1回地区医師会医療保険担当理事連絡協議会
 - ・令和6年度第2回おきなわ脳卒中地域連携委員会総会
 - ・令和6年度第2回地域包括ケア対策委員会
3. 第66回浦添市医師会ゴルフコンペについて
4. 第66回浦添市医師会定時総会について
5. 第229回沖縄県医師会臨時代議員会への質問事項について
6. 浦添市医師会4月二水会について
7. 案内事項
 - ・予防接種事務手数料ならびに上限額減額の期間満了について
 - ・HPVワクチンキャッチアップ接種について
8. 承認事項
 - ・令和7年度各種表彰候補者について
 - ・メンタルヘルス委員会委員の推薦について
 - ・警察医の推薦方について
 - ・沖縄超音波検査技術研究会の後援について
 - ・With you～OKINAW2025の後援について
 - ・沖縄県母子保健推進連絡協議会への会費納入について
9. その他
 - ・第17回沖縄県医師会新研修医のためのシンポジウム・歓迎レセプションについて

令和7年4月21日（月）19:00

1. 入会・異動・退会報告
2. 会議・委員会等参加報告
 - ・4月二水会報告
3. 「実践！クリニックのためのCOVID-19診療 in Urasoe」開催案内について
4. 5月学術講演会ならびに6月二水会のご案内について
5. 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業説明会の開催について
6. 令和7年度（第27回）浦添市医師会学術奨励賞演題募集について
7. 第64回地区医師会連絡協議会への参加確認について
8. 沖縄コンベンションビューローとの面談についての情報提供
9. 報告事項
 - ・新型コロナウイルスワクチン間違い接種について
 - ・苦情について
 - ・令和7年度各種表彰候補者決定について
 - ・各種会議における交通費について
10. 承認事項
 - ・浦添市社会福祉協議会特別会員会費納入について

入会・退会・異動報告（令和7年1月～4月理事会）

入会			
氏名	医療機関名	診療科目	入会年月日
伊藤 ゆい	同仁病院	内科	R6.11.1
原 信一郎	牧港中央病院	内科	R7.1.1
田中 由香子	美ら島クリニック	内科	R7.3.1
石田 真一	浦添協同クリニック	内科	R7.4.1
佐村 博史	さむら脳神経外科クリニック	脳神経外科、内科、外科、整形外科	R7.4.1

異動			
氏名	医療機関名	異動事由	異動年月日
金城 勤	浦添医院	会員区分変更(自宅会員へ変更)	R7.4.1
比嘉 富貴	介護老人保健施設エメロードてだこ苑	勤務先変更、会員区分変更	R7.4.1
栗國 克己	サンパーク胃腸内科クリニック	勤務先変更	R7.4.1

退会			
氏名	医療機関名	退会事由	退会年月日
豊見山 永昭	自宅会員(元豊見山産婦人科)	ご逝去	R6.12.5
國吉 真也	自宅会員(元くに整形外科)	医師会の異動	R6.12.6
木村 聰	自宅会員	その他	R7.3.31
福田 一樹	浦添総合病院	医師会の異動	R7.3.31
友利 大希	浦添総合病院	退職	R7.3.31
星原 祐輝	浦添総合病院	医師会の異動	R7.3.31
嘉数 健二	浦添協同クリニック	退職	R7.3.31
小林 稔典	浦添総合病院	退職	R7.4.30

浦添市医師会事務局からのお知らせ

浦添市医師会ホームページ掲載情報について

浦添市医師会ホームページでは会員医療機関の診療時間などを掲載し、広く情報公開をしています。診療時間、受付時間、診療科目の変更・追加などがある時は、浦添市医師会事務局へご一報下さいますようお願いいたします。

浦添市医師会事務局 TEL:098-874-2344 FAX:098-874-2362
E-mail:info@uraishi.or.jp http://www.uraishi.or.jp

弔事に係るご連絡について(お願い)

浦添市医師会では浦添市医師会運営規定に基づき、会員並びに会員の一親等以内の親族の方が亡くなられた際は、供花、香典と共に新聞に弔慰広告を掲載し、弔意を表すこととなっております。供花等を供する際の必要事項を記入する様式を備えておりますので、そのような時は浦添市医師会へお電話にてご連絡下さい。

浦添市医師会 TEL:098-874-2344 FAX:098-874-2362
沖縄県医師会 TEL:098-888-0087 FAX:098-888-0089

講演会・研修会等のご案内

予定が変更になることもあります。ご了承ください。

日 時	講演会・研修名・行事名	場 所	講 師	日医生涯教育制度 カリキュラムコード
5/21(水) 19:00	第154回 浦添市医師会学術講演会	浦添市医師会・ZOOM	座長:狩俣洋介先生 (かりまた内科医院 院長) 講師:藤田次郎先生 (おもと会グループ特別顧問・琉球大学名誉教授)	8(感染対策) 28(発熱)
6/23(月) 19:00	第67回 浦添市医師会定時総会	浦添市医師会	—	
6/25(水) 19:00	二水会 浦添市と浦添市医師会との意見交換会	浦添市医師会	—	
7/16(水) 19:00	令和7年度(第27回) 浦添市医師会学術奨励賞発表会・表彰式	牧港中央病院	—	—
8/13(水) 19:00	二水会	浦添市医師会	調整中	—
8/15(金) 19:00	第33回 浦添市医師会ボウリング大会	てだこボウル	—	—
9/17(水) 19:00	第155回 浦添市医師会学術講演会	浦添市医師会・ZOOM	調整中	調整中
9/23(火) 時間未定	第67回 浦添市医師会ゴルフコンペ	琉球ゴルフ俱楽部	—	—
10/8(水) 19:00	二水会	浦添市医師会	調整中	—
10/11(土) 14:00	第27回 うらそえ市民公開講座	アイム・ユニバース・てだこホール 市民交流室	調整中	—
10/18(土) 18:00	第64回 地区医師会連絡協議会	ANAインターコンチネンタル 石垣リゾート	—	—
10/19(日) 時間未定	第64回 地区医師会連絡協議会 親睦ゴルフコンペ	小浜島カントリークラブ	—	—

※浦添市在宅医療ネットワーク世話人会は毎月開催しております。詳細が決まり次第ご連絡申し上げます。

うらっしー事務局からのお知らせ

浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー 専用電話番号のご案内

浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしーの専用電話番号を設置しています。在宅医療・介護等についてのご相談はこちらの番号へおかけ下さい。
FAXでのご相談の場合は、これまで通り浦添市医師会と共有です。

うらっしー専用電話番号 TEL:098-894-2698



医師会会員情報システム

2024年10月30日公開

MAMISは、医師会員及び研修などに参加する非会員が利用できるWebベースのシステムです。

特に、これまで書類で行ってきた入会・異動等の手続きをWeb上で行うことで、先生方の手続き負担を軽減します。

都道府県医師会単位でMAMIS利用開始日は異なります

全ての医師会員が対象です

都市区等医師会(地区医師会)～日本医師会まで、全ての医師会員が、システムの利用対象となります。

加えて、日本医師会の研修制度をご利用される非会員の医師も対象となります。

日本医師会

都道府県医師会

都市区等医師会

Webで諸手続きができます

現在の日本医師会が配布する複写式届出用紙は、2024年上期中に配布終了、2024年末に受付終了予定です。

以降の住所変更等の手続きは、全てMAMIS上で行えます。



今後も機能追加等を継続し 会員のポータルサイトとして 改良を重ねます

サービス提供開始時は、医師年金や日医医賠責特約保険の加入状況の確認等を行えます。

今後、生涯学習、かかりつけ医機能研修の申込・単位確認のほかに、認定産業医・認定健康スポーツ医の申請手続きを追加予定です。



日本医師会
Japan Medical Association

MAMISは、全国の医師会員のポータルサイトとしてご利用いただけます。

システムの利用は無料です

ご利用の流れ

1 医師会より ログインのご案内が届いたら



2024年9月時点で日本医師会員の方には、郵送で仮ログインID・仮パスワードをご案内いたします。日本医師会に未会入のその他の医師会員の方には、準備ができ次第順次郵送させていただきます。

2 ログインページにアクセスして 仮ID・仮パスワードを入力



郵送物に記載の仮ログインID・仮パスワードを利用してログインしてください。
(初回はメールアドレスの登録が必要です)

<https://mamis.med.or.jp/login/>

3 MAMISをご利用いただけます!



入会／異動／退会申請を行うと、システムを通じて最寄りの医師会に申請が行われます。

* 申請完了まで約2カ月程度を要します。

* 最寄りの医師会の調べ方はコチラ
<https://www.med.or.jp/link/search.html>

主な機能

マイページ:ご登録情報の管理

医師が自らの登録情報を管理できます。



送付物の発送／停止、所属学会情報の管理等が行えます。



異動手続きの簡便化

新たな勤務先や所属医師会を選択・申請すると、自動的に該当医師会へ入会・退会申請を行います。



研修管理機能 (2025年3月頃 追加予定)

医師の学習支援と取得単位の可視化、認定制度の申請や証明書発行を簡便化します。

- 認定産業医・認定健康スポーツ医関連機能
- 生涯学習関連機能
- かかりつけ医関連機能



MAMISの最新情報はこちらから!

医師会会員情報システム
情報共有サイト
<https://member-sys.info/>



医師会会員情報システム運営事務局

お問い合わせ先 inquiry@mamis.med.or.jp | 0120-110-030

受付時間: 平日10:00～18:00
※土・日・祝日、年末年始を除く平日

日本医師会 会員情報室 jmamem@po.med.or.jp | 受付時間: 甲子9:30～17:30
受付時間: 平日9:30～17:30 ※土・日・祝日、年末年始を除く平日



浦添市医師会報へ掲載する表紙写真・会員寄稿 病院だより・診療所だより等のご寄稿を募集しております

本会では会報を年3回発行しており、よりおもしろく、よりためになり、親しみのある紙面作りをめざしています。

会報の表紙を飾る写真の投稿、随筆、書評、趣味の話など、先生方の多岐にわたるご寄稿をお待ちしております。

昨今のコロナ禍で各種講演会等が延期となり、会員間の情報共有が取りづらくなっています。そこで、浦添市医師会報誌面を活用し、会員間、病院一診療所間の交流や各施設の情報提供などを目的として「病院だより」「診療所だより」のコーナーを設けております。お知らせ等お気軽にご寄稿いただけますと幸いです。

原稿は随時募集しておりますので、メールまたは郵送にて浦添市医師会あてお送りくださいますようお願いいたします。

メディカルスタッフの皆様にも、本会会報へのご投稿について、どうぞお声かけ下さいますようお願いいたします。

寄稿仕様

①表紙の写真

写真タイトル・表紙のことば(簡単な説明)・投稿者の医療機関名・氏名・連絡先を明記のうえ、浦添市医師会あてメールまたは郵送にてお送り下さい。

②随筆・書評・趣味の話・その他

タイトル・投稿者の医療機関名・氏名・連絡先を明記のうえ、日常診療のエピソード、紀行文、書評、趣味などお気軽にご寄稿下さい。

③病院だより・診療所だより

タイトル・投稿者の医療機関名・氏名・連絡先を明記のうえ、ご投稿ください。お知らせや診療についてのご案内等お寄せください。

※メールでお送り下さる場合は、件名に「浦添市医師会報寄稿」とご入力下さい。
頂きましたご連絡先は、校正等のご連絡に使用させていただきます。

★会報に関する問い合わせ先★

浦添市医師会事務局 〒901-2132 浦添市伊祖3-3-1 アルマーレ101

TEL:098-874-2344 FAX:098-874-2362

Email:info@uraishi.or.jp

編集後記

令和7年を迎えたばかりと思っていたのも束の間、早くも春夏号をお届けすることになりました。ご執筆いただいた関係者の方々に大変感謝申し上げます。

本号では第66回定時総会報告から始まり、3件の二水会報告があります。一つ目は1月に行われた「浦添市国際交流員のお仕事紹介」です。浦添市国際交流課の国際交流員ジェイソン・チェンさんよりご寄稿いただきました。「広報うらそえ」にジェイソンとひと息カフェトーク(JASON's Café Talk)のコラムを執筆されていますので、今後フォローをしていただければ、国際交流への扉が開かれるかもしれません。二つ目は恒例となりました旧正新年会の報告です。私自身も参加させていただいたのですが、上原哲夫先生の唄三線が年を追うごとにグレードアップされていること、久高学先生の漫談家としての才能に驚かされたと同時に、司会の仕事を忘れるほど楽しませていただきました。三つ目は外国人診療に関する勉強会についての報告です。訪日外国人の増加や人口減少傾向にある日本において外国人労働も増加している中、多文化との共生は喫緊の課題であり、今回の勉強会は異文化を理解し共に社会を作る上で参考になったのではないでしょうか。

次いで、浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー事務局より令和6年度の市民公開講座の報告です。個人の意思を尊重した在宅医療のあり方や考え方について有意義な講演でありディスカッションだったようです。

医師会ゴルフコンペの報告は、本号での第66回コンペから第3位入賞者の報告ではなくなりました。これまでのコンペ報告は上位入賞者の持ち回り的な印象が濃いと感じられた方もいたのではないかと思いますが、今後は様々な視点で報告されるものと期待しています。

会員寄稿では大濱篤先生より琉球大学第一内科主催で開催されたセミナーの報告です。COVID-19の外来診療や感染対策についてグループワークを交えた勉強会が行われました。話題のなることが少なくなりましたが、夏場の流行が予測されるため、知識を整理する上で良い機会が得られたようです。

令和7年春の叙勲は社会医療法人仁愛会相談役の宮城俊夫先生が永年にわたる地域医療への寄与により瑞宝小綬賞を受章されました。浦添市医師会の一員として大変誇りに思ふことであり、先生におかれましてはいつまでもお元気で、そして引き続き我々後輩をご指導していただきたいと願っております。

副会長 照屋 徹 (会員親睦・広報担当)

浦添市医師会報 2025年(令和7年)春夏号 通算第97号

発行:一般社団法人浦添市医師会 発行人:洲鎌 盛一

〒901-2132 沖縄県浦添市伊祖3-3-1 101

TEL:098-874-2344 FAX:098-874-2362

E-mail info@uraishi.or.jp ホームページ http://www.uraishi.or.jp

制作/株式会社スウィッチ

2025年FM21「ゆんたく健康トーク」出演予定表

(2025年5月～12月)

5月

12日	浦添総合病院
26日	徳山クリニック

6月

9日	具志堅循環器・内科
23日	たつや整形外科

7月

14日	同仁病院
28日	なしろハルンクリニック

8月

11日	比嘉眼科
25日	ていーら整形外科

9月

9日	嶺井第一病院
22日	浦添市医師会事務局

10月

13日	宮良クリニック
27日	マンマ家クリニック

11月

10日	介護老人保健施設エメロードてだこ苑
24日	幸喜内科 糖尿病・甲状腺クリニック

12月

8日	みやざと内科クリニック
22日	平安病院

ラジオ
番組

浦添市医師会提供

「ゆんたく健康トーク」

毎月第2・第4月曜日

午後8時～9時

月2回

FM21(76.8Mhz)で好評放送中！

「FM21ゆんたく健康トーク」は、
毎月第2・第4月曜日の午後8時からの放送です（月2回）。
会員施設のみなさまには引き続き
ご出演・ご視聴いただきますようお願い申し上げます。